

I 私たちのクリスチャン生活と召会生活のために、私たちは新エルサレムのビジョンを持つ必要があります

啓21:9 また、七つの最後の災害が満ちた七つの鉢を持った七人の御使いの一人が来て、私に語って言った、「ここに来なさい。あなたに小羊の妻である花嫁を見せよう」。

10 そして彼は私を霊の中で、大きな高い山へ連れて行き、聖なる都エルサレムが、天から出て神から下って来るのを私に見せたが、11 それは神の栄光を持っていた。その光は最も尊い宝石のようであり、水晶のように透明な碧玉のようであった。

A 新エルサレムは、神性と人性とが共にミングリングされ、ブレンディングされ、建造されて一つの実体となっている構成体です。すべての構成要素には同じ命、性質、構成があるので、団体的なパースンです。啓21:2 私はまた聖なる都、新しいエルサレムが、夫のために着飾った花嫁のように整えられて、天から出て神から下って来るのを見た。

3 そして、御座から大きな声がこう言うのを聞いた、「見よ、神の幕屋が人と共にある。神は彼らと共に幕屋を張り、彼らは神の民となり、神自ら彼らと共にいて、彼らの神となる。」

B 新エルサレムは、神のエコノミーの中心的なビジョンと神聖な啓示の高嶺との究極的完成です。

1 新エルサレムとは、すなわち、聖書の究極的完成とは、神が人と成り、人が神格においてではなく命と性質において神となるということです。

2 新エルサレムは、神の選ばれ、贖われ、再生され、聖別され、更新され、造り変えられ、同形化され、栄光化された、神化されている人から成る構成体です。

ヨハネ3:6 肉から生まれるのは肉であり、その霊から生まれるのは霊である。

ローマ8:29 なぜなら、神はあらかじめ知っておられた者たちを、御子のかたちに同形化しようと、あらかじめ定められたからです。それは、御子が多くの兄弟たちの間で長子となるためです。

30 そして神はあらかじめ定めた者たちを、さらに召し、そして召した者たちを、さらに義とし、そして義とした者たちを、さらに栄光化されました。

3 新エルサレムは、団体の神・人、すなわち、神の拡大、拡張、表現であり、また団体の神です。

II 新エルサレムは「小羊の妻である花嫁…聖なる都エルサレム」です

A 使徒ヨハネは「聖なる都…が、夫のために着飾った花嫁のように整えられて」いるのを見ました。

1 新エルサレムは花嫁です。これは、彼女が物質の都ではなく、団体のパースンであって、キリストを満足させることを示しています。

2 新エルサレムは、花嫁、小羊の妻として、キリストの永遠の配偶者です。

B 新エルサレムは、神聖なロマンスの究極的完成、すなわち、宇宙的な夫婦、「永遠に愛し合う夫婦」です。

啓22:17 その霊と花嫁が言う、「来た

りませ!」。聞く者も「来たりませ!」と言いなさい。渴いている者は来たれ。欲しい者は、命の水を値なしに飲むがよい」。

3 キリストの婚約と結婚の生活は、召会時代、王国時代、永遠の時代を網羅します。

4 新エルサレムは、千年期において花嫁であり、千年間にわたりますが、それは一日のようです。また、新天新地において妻であり、永遠に至ります。

C 啓示録22:17は、キリストと、彼の妻としての新エルサレムが宇宙的な夫婦となって、永遠に至ることを示しています。

D 回復された召会における勝利者は、千年王国における新エルサレムとなります。

III 主イエスは、回復された召会の中の勝利を得る者を柱とし、神の宮の中へと建造します。神の宮は三一の神ご自身です。

啓21:22 私はその中に宮を見なかった。主なる神、全能者と小羊が、その宮だからである。

A 啓示録21:22において私たちが見るのは、新エルサレムにおいて三一の神ご自身が宮となるということです。

B 主が私たちを柱にするのは、私たちを造り変えることによってです。すなわち、私たちの天然の要素を運び去り、彼の神聖な要素で置き換えることによってです。

C 回復された召会における主の働きは、ご自身を私たちの中へと造り込み、私たちを神の宮の中の柱へと構成することです。

IV 回復された召会の中の勝利を得る人の上に、主イエスは彼の神の御名、神の都である新しいエルサレムの名、彼の新しい御名を書き記します

A 神の御名、新しいエルサレムの名、主の新しい御名が勝利者の上に書き記されるという事実が示しているのは、勝利者が神によって、新しいエルサレムによって、主によって所有されているということです。また神ご自身、神の都(新しいエルサレム)、主ご自身がすべて、勝利者のものとなるということです。そして勝利者が神と一になり、新しいエルサレムと一になり、主と一になるということです。

B 神の御名は神ご自身を意味します。新しいエルサレムの名は都そのものを意味します。主の御名は主ご自身を意味します。

C 神の御名、新しいエルサレムの名、主の御名が勝利者の上に書き記されることが示しているのは、神であるもの、新しいエルサレムの性質、主のパースンがすべて、勝利者の中へと造り込まれているということです。

ヨハネ14:23 イエスは彼に答えて言われた、「だれでも私を愛する者は、私の言を守る。そして私の父は彼を愛され、私たちは彼の所へ行って、彼と共に住まいを造る。」

D 新エルサレムを勝利者に対する賞として述べているのは、この約束が千年王国において成就されることを示します。千年期における新エルサレムは、勝利者だけに対する賞となります。

CP1 新エルサレムに関する真理を認識し、ビジョンを見て、今日、新エルサレムを経験し、建造する。私たちのクリスチャン生活と召会生活のために、私たちは新エルサレムのビジョンを持つ必要があります。啓21:10 そして彼は私を霊の中で、大きな高い山へ連れて行き、聖なる都エルサレムが、天から出て神から下って来るのを私に見せたが、11 それは神の栄光を持っていた。その光は最も尊い宝石のようであり、水晶のように透明な碧玉のようであった。A新エルサレムは、神性と人性とが共にミングリングされ、ブレンディングされ、建造されて一つの実体となっている構成体です。すべての構成要素には同じ命、性質、構成があるので、団体的なパースンです。ヨハネ14:20 その日には、私が私の父の中におり、あなたがたが私の中におり、私があなたがたの中にいることを、あなたがたは知るであろう。23 イエスは彼に答えて言われた、「だれでも私を愛する者は、私の言を守る。そして私の父は彼を愛され、私たちは彼の所へ行って、彼と共に住まいを造る。B新エルサレムは、神のエコノミーの中心的なビジョンと神聖な啓示の高嶺との究極的完成です。1新エルサレムとは、聖書の究極的完成とは、神が人と成り、人が神格においてではなく命と性質において神となるということです。ローマ5:10 というのは、私たちが敵であった時に、神の御子の死を通して神に和解させられたからには、和解させられている今、さらにいっそう彼の命の中で救われるからです。2新エルサレムは、神の選ばれ、贖われ、再生され、聖別され、更新され、造り換えられ、同形化され、栄光化された、神化されている人から成る構成体です。ローマ12:2 またこの時代にかたどられてはいけません。むしろ、思いが新しくされることによって造り換えられなさい。それは、何が神のみこころであるか、すなわち何が善であって、喜ばれ、完全なものであるかを、あなたがたがわきまえるようになるためです。a私たちが神化されることが意味するのは、私たちが手順を経て究極的に完成された三一の神で構成されつつあるということです。それによって、私たちは命と性質において神とされ、彼の団体的な表現となって永遠に至ります。b信者たちの神化は、新エルサレムにおいて究極的に完成する過程です。これが、最高の真理と最高の福音です。3新エルサレムは、団体の神・人、神の拡大、拡張、表現であり、また団体の神です。

適用:ビジネスパースン、大学院生編

以下のITEROのメッセージOLは私たちが、新エルサレムを含むあらゆる真理に対する私たち

の基本的な態度、正しい認識を提示しています。ITERO#3 真理の全き知識1テモテ2:4 神はすべての人が救われて、真理の全き知識へ至ることを願っておられます。①召会の墮落は、真理を軽視することに源があります。主の回復の目標は、聖書に啓示されている事柄の実際、命、活力、力量、能力、衝撃力を回復することです。②信仰は、神が私たちのために計画したすべて、神が私たちのために行ったすべて、神が私たちに与えたすべてを受けることです。③真理の全き知識は、真理を徹底的に把握すること、また私たちが信仰を通して受けたすべての霊的で神聖な事柄の実際を完全に承認することです。④あらゆる信者には真理の全き知識へ至る能力があります。⑤聖書の真理には、客観的な面と主観的な面があります。⑥客観的な真理は主観的な真理のためであり、主観的な真理は召会を生み出すためです。⑦主は、聖書の中の主観的な真理、すなわち三一の神に関する真理の主観的な面を回復することを願っています。⑧その霊と命は、主観的な真理の実質です。その霊と命がなければ、主観的な真理はありません。⑨私たちはその霊と命によって生きている時、主観的な真理を持ちます。⑩召会生活は、私たちが主観的な真理を経験した結果です。私たちが主観的な真理を経験する時、召会は自然に生み出されます。

証 私は一兄弟が、「新エルサレムは物質の都ではない。それは霊的しるしであり、私たちはその霊的な意義を認識し、適用する必要がある」と強調しておられたことを何度も聞きました。最初、私は「それはそこまで重要なことではないのでは?」と思っていました。しかし、主に照らされたので、悔い改めて、時間をかけてこのことを、思いを霊につけて考慮しました。私が主との交わりの中で気付いたことは以下の通りです、「召会は霊的な建造物である。しかし、もし私が聖書の究極的な結論である新エルサレムが物質の建造であると考えたら、今日の霊的建造は、弱められ、誤導されてしまう。従って、新エルサレムが物質的な都でないことを理解することは極めて重要である。今日、私は新エルサレムを建造しなければならない」。

また、新エルサレムの霊的意義は、私によって適用されるべきです。例えば、今週の朝毎の食物のOLは次のように言っています、「IB1a神がキリストの中で人と成ったのは、人を神の命と性質において神とするためでした。それによって贖う神と贖われた人は、共にミングリングされ、構

成されて、一つの実体、新エルサレムとなることができます。**b**最終的に、三一の、永遠の神は、新エルサレムとなり、私たちすべてと合併されます。私たちも神の有機的な救いの過程を通して、新エルサレムとなります」。私は今日、手順を経た神とミングリングされ、合併されなければなりません。このことを思う時、自分ではできないので、自然に祈りが出てきました、「おお主イエスよ、ビジネスライフ、家庭生活、召会生活と奉仕において、あなたとミングリングするために、霊を活用し、思いを霊に付けます。私は自分の天然の性情に従ってではなく、あなたとの性質におけるミングリングの中で、生活行動したいです。更に私は決定する時に、自分の思いや願望に従ってではなく、己を否み、キリストを私のパースンとして取り、パースンにおいて合併されるべきです。私は今日、主との結合、ミングリング、合併の中で新エルサレムを生かし出し、成し遂げます。主の憐みと恵みに頼ります。この祈りを聞いてください。アーメン!」。

CP2 私たちは神の神聖な要素で置き換えられ、造り換えられ、勝利者となり、神の宮の中の柱となる

III 主イエスは、回復された召会の中の勝利を得る者を柱とし、神の宮の中へと建造します。神の宮は三一の神ご自身です **啓3:12** 勝利を得る者を、私の神の宮の柱にしよう。彼はもはや決して外に出ることはない。私はまた彼の上に、私の神の御名と、私の神の都、すなわち天から出て、私の神から下って来る新しいエルサレムの名と、私の新しい名とを書き記そう。 **21:22** 私はその中に宮を見なかった。主なる神、全能者と小羊が、その宮だからである。 **A** 啓示録21:22において私たちが見るのは、新エルサレムにおいて三一の神ご自身が宮となるということです: **1** 勝利者が宮の中の柱になることが意味するのは、勝利者が三一の神の中の柱となるということです。 **2** このことは、三一の神とミングリングされること、また三一の神で構成されることを含んでいます。 **エペソ3:16** どうか御父が、彼の栄光の豊富にしたがい、力をもって、彼の霊を通して、あなたがたを内なる人の中へと増強してくださいますように。 **17** またキリストが、信仰を通してあなたがたの心の中に、ご自身のホームを造ることができますように。またあなたがたが、愛の中に根ざし土台づけられ、 **B** 主が私たちを柱にするのは、私たちを造り変えることによってです。すなわち、私たちの天然の要素を運び去り、彼の神聖な要素で置き換えることによってです: **2コリ3:18** しかし、私たちはみな、主の栄光をおおいの顔をもって、鏡

のように見つめ、そして反映して、栄光から栄光へ、主と同じかたちへと徐々に造り換えられています。 **2** 主が今日の召会生活において願っているのは、私たちを神の宮の中の柱にし、神の宮の中の柱へと構成することです。 **C** 回復された召会における主の働きは、ご自身を私たちの中へと造り込み、私たちを神の宮の中の柱へと構成することです。

IV 回復された召会の中の勝利を得る人の上に、主イエスは彼の神の御名、神の都である新しいエルサレムの名、彼の新しい御名を書き記します

A 神の御名、新しいエルサレムの名、主の新しい御名が勝利者の上に書き記されるという事実が示しているのは、勝利者が神によって、新しいエルサレムによって、主によって所有されているということです。また神ご自身、神の都(新しいエルサレム)、主ご自身がすべて、勝利者のものとなるということです。そして勝利者が神と一になり、新しいエルサレムと一になり、主と一になるということです。 **C** 神の御名、新しいエルサレムの名、主の御名が勝利者の上に書き記されることが示しているのは、神であるもの、新しいエルサレムの性質、主のパースンがすべて、勝利者の中へと造り込まれているということです。 **ヨハネ14:19** もうしばらくすると、世の人はもはや私を見ない。しかし、あなたがたは私を見る。私が生きるのも、あなたがたも生きるようになる。 **20** その日には、私が私の父の中におり、あなたがたが私の中におり、私があなたがたの中にいることを、あなたがたは知るであろう。 **23** イエスは彼に答えて言われた、「だれでも私を愛する者は、私の言を守る。そして私の父は彼を愛され、私たちは彼の所へ行って、彼と共に住まいを造る。 **D** 新エルサレムを勝利者に対する賞として述べているのは、この約束が千年王国において成就されることを示します。千年期における新エルサレムは、勝利者だけに対する賞となります。

適用: 青少年・大学生、新人編

証1 私は、救われたばかりの時は何も分かっていなくて、自分が好きな時だけ集会に行って、困った時にだけ主に頼れば十分だと思っていました。しかし、徐々に召会生活を送るにつれて、主が無くては、また召会生活がなければ生きてはいけないという感じがしてきました。

その後、召会生活の中で奉仕するようになり、少しずつ目が開かれて、真理がはっきりしてきて、自分の存在意義は神のエコノミーと関係があることを認識するようになりました。日々主を見つめて造り変えに日々あずかり、神の宮の中の柱

となれますように。[2コリント3:16](#) しかし、彼らの心が主に向く時はいつも、そのおおいは取り除かれます。[17](#) そして主はその霊です。そして主の霊のあるところには、自由があります。[18](#) しかし、私たちはみな、主の栄光をおおいのない顔をもって、鏡のように見つめ、そして反映して、栄光から栄光へ、主と同じかたちへと徐々に造り変えられていきますが、それはまさに主なる霊からです。

証2 私たち夫婦が仙台に住んでいた時、私たちを顧みてくださっていた余力兄弟姉妹に久しぶりにお会いしたいと思い、機会を得て個人的に神戸に来ました。兄弟姉妹は温かくもてなしてくださり、私たちが抱えていた問題についてよくよく交わって神ご自身を供給してくださいました。その交わりを通して、私自身が非常に天然で自己中心的な生活を追い求めており、神の御心を追い求めていないことを痛感しました。当時、福音友人と接触してはいたものの、何も神を供給できず行き詰まってしまっていたのも当然と思いました。このように何も造り変えられていないままではいけないという切迫感に迫られて、真剣に祈りました。余力兄弟姉妹も私たちのためによく祈ってくださいました。

神戸の滞在を終えて戻って来てからも、主に押し迫られて祈り続けました。それからほどなく、もともと東京への転勤が決まっていた夫の転勤先が関西に変更になったと知らされました。とても驚きましたが、平安と主の導きへの感謝が内側にあり、2か月後に神戸に転居しました。それから今に至るまで、失敗しながらではありますが、主が召会生活の中に私たちを保ってくださいていることを感謝します。建造のために造り変えられることを願います。

[ローマ8:28](#) また神を愛する者、すなわち、彼の目的にしたがって召されている者たちには、すべてが共に働いて益となることを、私たちは知っています。[29](#) なぜなら、神はあらかじめ知っておられた者たちを、御子のかたちに同形化しようと、あらかじめ定められたからです。それは、御子が多くの兄弟たちの間で長子となるためです。

祈り おお主イエスよ、主が今日の召会生活において願っているのは、私を神の宮の中の柱にし、神の宮の中の柱へと構成することです。主が私を柱にするのは、私を造り変えることによって、すなわち、私の天然の要素を運び去り、彼の神聖な要素で置き換えることによってです。私の造り変えのために、人、事、物、状況をアレンジしてくださる主に感謝します。万事は神を愛する者に造り変えを得させることで益となります。アーメン!

1. YouTube福音集会:

① 12月から全地区で毎月福音主日集会を行います。具体的に言うと、福音集会担当でない月においても、月に1回、その週の福音アウトラインを用い、各地区で福音を行います。

② 毎週の福音アウトラインは水曜日夜に配布します。

③ YPと六甲については、従来通り、第3週YPグループと第4週六甲地区は毎月福音集会を行います。

11/26 YP

12/3 三宮・神戸(動画を録画してください)、
本山は地区内で取り組んで福音をしてください。

2. 月曜 20:00-30 責任者・奉仕者祈りと交わり:

11/27 三宮・神戸

3. 預言準備集会: 土曜 7:55-8:25

12/2 魚崎・六アイ

12/9 YP

4. サンクスギビング国際特別集会:

12/1(金) 19:00~M1

12/2(土) 10:00~M2, 13:30~M3, 19:00~M4

12/3(主) 10:30~M5, 13:30~M6

5. 12/12-18 宜蘭(台湾)45名神戸訪問:

兄弟姉妹を大いに歓迎、接待し、からだの交わりとブレンディングに共にあずかりましょう。

6. 12月-1月の海外からの神戸訪問スケジュール:

12/1-4 台湾の同労者である徐Bと姉妹が来られます。

12/1-4, 9-10 Beryl姉妹、娘2人(シンガポール)